

山口県公立大学法人評価委員会（第38回）の審議要旨

- 1 日 時 令和2年8月6日（木） 10:00～11:30
- 2 場 所 山口県立大学北キャンパス5号館1階 E104会議室
- 3 出席委員 成富委員長、小野委員、首藤委員、早川委員（委員長以外50音順）

4 審議事項

令和元年度における法人の業務の実績に関する評価について

5 審議要旨 [● 委員 ◆ 委員長 □ 法人 △事務局]

- 大学では、学生の知識・技能の習得のみでなく、社会に出てからのストレス等にも対応できるよう、人間性や思考力なども養っていただくことや、リーダーシップを持って社会のエンジンになってくれるような人材の育成を期待したい。
- 企業の課題解決に関わるような質の高いインターンシップを含めたキャリア教育の充実や、チームワーク、コミュニケーション力も必要とされるチーム学習で学生の社会人基礎力を高める教育改革を進めていきたい。
- 国際文化学研究科（大学院）やそのリカレント教育については、地域の課題を研究対象としている実績に基づき、行政職員を対象とすることにより進学者・受講者を増やす取組が必要ではないか。
- データサイエンスや統計を交えながら、行政職員が大学と地域課題を一緒に解決する過程で得られた力が現場に戻ってからの政策形成に生かされるなど、地域共生センターを中心に大学・自治体双方のコミュニケーションの向上を図りながら、リカレント教育に資する大学院教育を進めていければと考えている。
- 大学施設を県内企業の行事や地域の方に利用していただく制度を設ければ、幅広い方に県立大学の学修環境等の良さがPRできるのではないか。
- 新型コロナウイルスへの対応を生かし、遠隔授業を活用して県内のどこからでも大学の授業が受けられるようにするなど、大学としても県内の様々なニーズに幅広く対応していくことが必要と考える。
- 18歳人口の減少により大学経営が厳しくなると言われており、経営状況の分析等に取り組む必要があるのではないか。

- 決算分析や他大学との経営状況の比較、科学研究費などの外部資金の獲得などに取り組むとともに、教育から経営までを含めた大学全体の解析・分析を行いながら、研究力の向上など現場の改善に努めていきたい。

【 まとめ 】

- ◆ 評価書の原案については、委員の意見を踏まえ一部修正を加えることとし、その調整については、委員長に一任いただく。

- △ 本日の委員の意見を踏まえて、委員長と事務局とで評価書原案を調製し、法人への意見照会を経て、評価書を確定させていただく。

評価の結果については、9月議会に報告させていただく。

以 上